

G8 科学大臣及びアカデミー会長会合の結果概要

平成 25 年 6 月 20 日

政策統括官（科学技術政策・イノベーション担当）

国際担当

1. 日時及び場所

平成 25 年 6 月 12 日（水） 於 英国 ロンドン 王立協会

2. 出席者

(1) 大臣級

| | |
|------|-----------------------------------|
| 英国 | ウィレットツ 大学・科学担当大臣 |
| カナダ | グッドイヤー 科学技術大臣 |
| フランス | フィオラソ 高等教育・研究大臣 |
| ドイツ | シュッテ 教育・研究担当ステート・ミニスター（事務次官） |
| イタリア | カローザ 教育・大学・研究大臣 |
| 日本 | 原山 総合科学技術会議議員 |
| ロシア | リヴァーノフ 教育・科学大臣 |
| 米国 | ファルコン 大統領府科学技術政策局国家安全保障・国際問題担当副局長 |
| EU | ゲーガン・クイン 欧州委員（研究・イノベーション・科学担当） |

(2) アカデミー会長級

| | |
|------|------------------------------|
| 英国 | ナース 王立協会会長 |
| カナダ | ベル カナダ王立協会次期会長 |
| フランス | タケ 科学アカデミー会長 |
| ドイツ | ハッカー ドイツ国立科学アカデミー・レオポルディーナ会長 |
| イタリア | マフェイ アッカデーミア・デイ・リンチェイ会長 |
| 日本 | 大西 日本学術会議会長 |
| ロシア | ウグルモフ ロシア科学アカデミー会員 |
| 米国 | クレッグ 国立科学アカデミー外務書記 |
| EU | バンデルメーア 欧州科学アカデミー諮問委員会会長 |

3. 議題

次の 4 つのテーマについて議論。

- ① グローバル課題
- ② グローバル研究インフラ
- ③ 科学研究のオープンデータ
- ④ 科学研究の成果へのアクセスの拡大

4. 共同声明（要点） （原文全文は別添のとおり。）

(1) グローバル課題

- G8 として協力して取り組むべき新たなグローバル課題について議論。社会科学、人文科学、自然科学、生命科学、環境科学にまたがる学際的・分野横断的な取組の必要性を強調。
- 近い将来に注視することが必要な課題として様々なものがあることを認識。特に、都市化、人口、エネルギー安全保障、気候変動、生物多様性、海洋酸性化、若年者失業、不平等、基礎科学の成果の個別・再生医療への応用、人口高齢化、神経変性疾患を取り上げて議論（ただし、これらは確定的なリストではない）。
- また、21 世紀の健康安全上の課題として抗菌薬の薬剤耐性に焦点を当て、WHO 等と協力しつつ、耐性減少に必要な科学的インプットを発展させるために協調していくことを決定。

(2) グローバル研究インフラ（GRIs）

- GRIs に関する国際協力の発展の可能性について認識するとともに、2008 年沖縄での G8 科学技術大臣会合を受けて設置された政府高官グループ（GSO）の取組を認識。
- G8 が、GRIs に関する協力を検討する際の原則等として、GSO で決定されたフレームワークの採用を決定。また、フレームワークの推進や、新たな参加国と協力を開くための GRIs リストの作成等に関し、GSO に新たなマンデートを付与することを承認。
- 進捗状況を報告してもらうため、2015 年に GSO を招聘。

(3) 科学研究のオープンデータ

- 科学的発見やイノベーション、科学の透明化や科学への国民参画等を加速させるため、G8 は科学研究データのオープン化を確約。
- 科学研究データのオープン化のため、G8 として、プライバシーや安全、セキュリティ、商業的利益に関する懸念に留意し、また、民間部門の正当な懸念を認識した上で、公的資金の提供を受けた科学研究データはオープン化すべき等の基本原則を採用することを決定。

(4) 科学研究の成果へのアクセスの拡大

- G8 各国は、科学的発見の加速や研究に関する国際連携・協力の実施、国民参画の加速、経済的繁栄の支援等のため、公的資金の提供を受けた研究の成果へのアクセスを拡大させる政策を推進する機会及び責任を有することを認識。

- 具体的には、公的資金の提供を受けた研究について、ピアレビュー後、公表後に、その成果へのアクセスを拡大する原則を承認するとともに、その際、ピアレビューや出版社が果たす役割の重要性、オープンアクセスには相互に補完する複数の手段が存在すること等を認識。

4. 参考

第1回のG8科学技術大臣会合は、2008年6月に沖縄で開催。今回の会合は同会合に続くもの。

2014年、2015年のG8議長国は、それぞれロシア、ドイツの予定。

